



No.013 政府は自治体を超えて作る？ ワイン・ワインの関係が重要！



「消滅可能性都市」2040年までに全市町村の約半分が消滅する。増田レポートをきっかけに、国は人口の長期ビジョンと地方創生総合戦略を作りました。全国の自治体もそれに倣って1800の人口ビジョンと地方版創生総合戦略を作りました。

中身は金太郎飴そのものです。自治体の境界線ごとに人を奪い合っても全体の人口減少に歯止めがかかるわけがありません。

しかし、となり町の戦略を作るわけにはいきませんからね…仕方がない。結局アリバイ作りだけ。これが日本の総合戦略です。

本気でやるなら自治体の境界線を越え、経済圏の中で役割分担しながら、全体の戦略を立てなければなりません。

その際大事なのは、パイの奪い合いと考えないこと。他が得すれば自分が損をすると考える限り、広域連携はうまくいきません。

例えば空港をどこに作るとか、公共施設を統合するとか。自治体内でのフルセット主義はもはや過去のものです。

資源の集中投下でパイ全体を大きくする戦略なのだ、お互いワインワインの関係にあるのだ、という共通認識が必要です。

戦略性に欠ける日本の行政にはもともと無理な発想かもしれません、九州ぐらいは余計な縄引きはやめてほしいものです。